

# 伏見区住民円卓会議ニュース 旧伏見地域版 第3号

平成22年4月16日発行

伏見区役所では、区民の皆さんの意見を次期伏見区基本計画に反映するため、日ごろから地域で活躍されている皆さんで構成される伏見区住民円卓会議を設置しています。このニュースレターでは、区内6地域で開催される住民円卓会議の様子を紹介していきます。

## 第3回 伏見区住民円卓会議（旧伏見地域）を開催しました！

話し合いの  
テーマは

### 『わたしたちが暮らすまち 2020年に向けてこんな取組をしてみたい！』

平成22年2月3日（水）、旧伏見地域（構成学区：住吉、板橋、南浜、竹田、桃山、桃山東、桃山南の各学区）の第3回住民円卓会議を開催しました。今回の住民円卓会議では、「2020年に向けたまちづくりの重要テーマ」を考えるとともに、そのテーマに係わる「自分たちの手で取り組みたいこと」について話し合いました。

また、参加者の皆さんには、話し合われた重要テーマや考えられた取組などを踏まえて、「2020年に向けたまちづくりの“合言葉”」を考えていただきました。（意見の詳細は裏面をご覧ください。）



#### 日時・場所

【日時】平成22年2月3日（水）

午後7時～9時

【場所】伏見区総合庁舎4階 中会議室

#### プログラム

- 伏見区基本計画策定委員会の報告
- グループ討議①  
「2020年に向けた重要テーマを考える」
- グループ討議②  
「自分たちの手で取り組みたいこと」  
「2020年に向けたまちづくりの合言葉」
- グループ発表

#### <円卓会議の流れ>

21年1月

第1回  
「わたしのまちはこんなまち」  
「将来こんなまちにしたい」

21年3月

第2回  
「地域の将来像とその実現に向けた取組」

今回

22年2月

第3回  
「自分たちの手で取り組みたいこと」  
「2020年に向けたまちづくりの合言葉」



住民円卓会議の参加者の皆さんは、市政の様々な分野で活躍いただく市民ボランティア「市民共汗サポーター」です。

## 旧伏見地域

3つのグループに分かれて話し合いました。



みんなで考えたまちづくりの“合言葉”

☆みんなが見たい、聞きたい、話したい、おもろいまち伏見

☆“めざめよ！伏見人”歴史が息づく町 京都南部の文化の発信地

☆“どうやって担い手をつくるか”

### 「自分たちの手で取り組みたいこと」について考えよう！

観光振興・まちのにぎわいづくり

#### 【にぎわいづくりのための取組】

- ・歴史まちづくりの実行委員会づくり
- ・大学生を交えた交流の場づくり

#### 【伏見のファンづくり・魅力を学ぶ・魅力を伝える】

- ・観光ボランティアガイドの募集・育成
- ・地域の人が歴史・資源を知る、学ぶ、アピールする

#### 【観光情報のネットワーク化と発信】

- ・歴史探訪マップを作成して観光スポットのネットワークを作る
- ・ウォークラリーコースの設定や巡回バスの運行

#### 【地域の魅力を活用・特産品開発】

- ・観光向きの土産物の開発や伏見の酒の販売拡大
- ・地域のシンボルとして伏見桃山城の有効活用や、温泉の発掘

人とひとの交流・担い手育成のために

#### 【住民の自主性を大切にする】

- ・行政の動きを待つだけでなく住民が独自で動くことが大事

#### 【若い世代が地域の担い手として責任を果たす】

- ・学校と地域が繋がっている組織づくり
- ・若い世代の子育て支援、子どもが安心して遊べる場所づくり

#### 【ご近所つきあいを大切にする】

- ・子どもと高齢者など異世代間交流の機会をつくる
- ・地域住民が交流できる場所やシステムをつくる

環境にやさしいまちにするために

#### 【エコライフに取り組む】

- ・みんながエコを意識する
- ・子どもに対して自然や環境の大切さを教える

安心・安全な暮らしのために

#### 【高齢者に配慮したまちづくり】

- ・老人を大事にした礼儀正しいまちにする
- ・単身者や高齢世帯が暮らしやすいまちにする

#### 【人に優しいみちづくり】（行政が主導する取組）

- ・車椅子の人など障害者にも優しいまち・みちづくり

#### 【東西交通の充実】（行政、区民、事業者が協働する取組）

- ・南北の鉄道網が発達しているが、東西の交通が弱い。コミュニティバス等を活用する



グループの発表者が話し合いの内容を発表しました

お問い合わせ先：伏見区役所区民部総務課（企画広報担当）

〒612-8511 京都市伏見区鷹匠町 39-2

TEL：075-611-1295（直通） FAX：075-611-4716